

## 平成20年度事業評価書（事後）要旨

評価実施時期：平成20年8月

担当部局名：職業安定局地域雇用対策室

事業名	地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）																									
政策体系上の位置付け	<p>基本目標Ⅳ 経済・社会の変化に伴い多様な働き方が求められる労働市場において労働者の職業の安定を図ること</p> <p>施策目標2 雇用機会を創出するとともに雇用の安定を図ること</p> <p>施策目標2-1 地域及び中小企業等における雇用機会の創出等を図るとともに産業の特性に応じた雇用の安定を図ること</p>																									
事業の概要	<p>雇用機会が少ない等の地域において、雇用創造に自発的に取り組む市町村等が提案した、雇用機会の創出、能力開発、情報提供・相談等の事業の中から、コンテスト方式により雇用創造効果が高いものを選抜し、当該市町村等に対しその事業の実施を委託する。</p>																									
施策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(1) 有効性の評価</p> <table border="1" data-bbox="370 864 1433 972"> <tr> <td>有効性の評価</td> </tr> <tr> <td>アウトカム目標として設定した事業利用企業等における雇入数、事業利用求職者等の就職件数、アウトプット目標として設定した事業利用企業等の数、事業利用求職者等の数の全てを達成しており、有効な施策であったと考えられる。</td> </tr> </table> <p>(2) 効率性の評価</p> <table border="1" data-bbox="370 1025 1433 1189"> <tr> <td>効率性の評価</td> </tr> <tr> <td>地域の雇用失業情勢は、それぞれの地域が有する様々な特性に基づくものであり、各地域で効率的に雇用機会の創出を図るためには、地域の特性や実情に精通した地域の関係者の創意工夫や発想を活かした対策を実施することが必要である。本事業は、これらの趣旨を踏まえ、地域の関係者より事業に提案を受け付け、そのうちの雇用創造効果の高い事業の実施を委託するものであり、効率的な施策であったと考えられる。</td> </tr> </table> <p>(政策等への反映の方向性)</p> <p>本事業は平成20年度で終了。当該事業で得たノウハウは、平成19年度より実施している地域雇用創造推進事業に活用する。</p> <p>【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p> <table border="1" data-bbox="370 1541 1455 1921"> <thead> <tr> <th colspan="2">アウトカム指標 (達成水準/達成時期)</th> <th>H15</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>事業利用企業等における雇入数(人) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)</td> <td>— 【—%】</td> <td>— 【—%】</td> <td>3,289 【196%】</td> <td>6,471 【169%】</td> <td>6,040 【244%】</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>事業利用求職者等の就職件数(件) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)</td> <td>— 【—%】</td> <td>— 【—%】</td> <td>8,155 【113%】</td> <td>9,744 【117%】</td> <td>5,427 【101%】</td> </tr> </tbody> </table> <p>(調査名・資料出所、備考)</p> <p>資料出所：指標1及び2ともに、事業を実施する協議会からの実施結果報告（職業安定局調べ）による。</p> <p>備考：協議会とは、自発的に雇用創造に取り組む市町村・都道府県及び経済団体などにより構成される地域雇用創造協議会を言う。</p>	有効性の評価	アウトカム目標として設定した事業利用企業等における雇入数、事業利用求職者等の就職件数、アウトプット目標として設定した事業利用企業等の数、事業利用求職者等の数の全てを達成しており、有効な施策であったと考えられる。	効率性の評価	地域の雇用失業情勢は、それぞれの地域が有する様々な特性に基づくものであり、各地域で効率的に雇用機会の創出を図るためには、地域の特性や実情に精通した地域の関係者の創意工夫や発想を活かした対策を実施することが必要である。本事業は、これらの趣旨を踏まえ、地域の関係者より事業に提案を受け付け、そのうちの雇用創造効果の高い事業の実施を委託するものであり、効率的な施策であったと考えられる。	アウトカム指標 (達成水準/達成時期)		H15	H16	H17	H18	H19	1	事業利用企業等における雇入数(人) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)	— 【—%】	— 【—%】	3,289 【196%】	6,471 【169%】	6,040 【244%】	2	事業利用求職者等の就職件数(件) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)	— 【—%】	— 【—%】	8,155 【113%】	9,744 【117%】	5,427 【101%】
有効性の評価																										
アウトカム目標として設定した事業利用企業等における雇入数、事業利用求職者等の就職件数、アウトプット目標として設定した事業利用企業等の数、事業利用求職者等の数の全てを達成しており、有効な施策であったと考えられる。																										
効率性の評価																										
地域の雇用失業情勢は、それぞれの地域が有する様々な特性に基づくものであり、各地域で効率的に雇用機会の創出を図るためには、地域の特性や実情に精通した地域の関係者の創意工夫や発想を活かした対策を実施することが必要である。本事業は、これらの趣旨を踏まえ、地域の関係者より事業に提案を受け付け、そのうちの雇用創造効果の高い事業の実施を委託するものであり、効率的な施策であったと考えられる。																										
アウトカム指標 (達成水準/達成時期)		H15	H16	H17	H18	H19																				
1	事業利用企業等における雇入数(人) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)	— 【—%】	— 【—%】	3,289 【196%】	6,471 【169%】	6,040 【244%】																				
2	事業利用求職者等の就職件数(件) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)	— 【—%】	— 【—%】	8,155 【113%】	9,744 【117%】	5,427 【101%】																				

アウトプット指標 (達成水準/達成時期) ※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)						
		H15	H16	H17	H18	H19
1	事業利用企業等の数(件) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)	— 【-%】	— 【-%】	14,877 【120%】	20,417 【129%】	15,006 【121%】
2	事業利用求職者等の数(人) (協議会において年度ごとに設定した目標数を上回る/平成19年度)	— 【-%】	— 【-%】	55,835 【148%】	83,819 【167%】	38,970 【131%】
(調査名・資料出所、備考) 資料出所：指標1及び2ともに、事業を実施する協議会からの実施結果報告(職業安定局調べ)による。 備考：協議会とは、自発的に雇用創造に取り組む市町村・都道府県及び経済団体などにより構成される地域雇用創造協議会を言う。						

関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)